

別添様式2

令和2年度畜産競争力強化対策緊急整備事業の評価結果

(都道府県名： 島根県)

1. 成果目標(増頭羽数効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	4	4	0	—	—	—	—	—

2. 事業実施後の効果(収益性の向上効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	4	0	4	123%	1	0	計画目標以上の効果がみられる実施主体がある一方、目標達成率が低い取組主体がみられる。 今後は、飼養管理技術の向上等、各経営体毎の課題解決に向けた取組が必要である。	県の成果目標の平均達成率は123%であり、達成されているが、未達成の取組主体があるため県等の継続的な指導を依頼。

別添様式2

令和2年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の評価結果

(都道府県名： 島根県)

1. 成果目標(増頭羽数効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	6	5	1	136%	0	無	飼養羽数は着実に増羽し、 計画達成できた。 引き続き、協議会と連携し、 計画達成に向けた支援を行 う。	県の成果目標の達成率は 136%であり、達成されている。

2. 事業実施後の効果(収益性の向上効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	6	6	0	—	—	—	—	—

別添様式2

令和2年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の評価結果

(都道府県名： 山口県)

1. 成果目標(増頭羽数効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	1	1	0	—	—	—	—	—

2. 事業実施後の効果(収益性の向上効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	1	0	1	128%	0	無	飼料用米の保管コスト低減の目標を達成している。本協議会の取組は県計画に沿ったものであり、引き続き生産者と需要者が一体となった飼料用米生産を通じて、地域農業への貢献が期待できる。	県の成果目標の達成率は128%であり、達成されている。

別添様式2

令和2年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業の評価結果

(都道府県名：香川県)

1. 成果目標(増頭羽数効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	7	6	1	—	—	—	—	—

2. 事業実施後の効果(収益性の向上効果)

事業 実施年度	事業 実施数 ア	評価対象外 事業数 イ	評価対象 事業数 ア-イ	目標の 平均達成率	評価対象事業 のうち、都道 府県が事業実 施主体へ改善 指導を必要と した事業数	地方農政局等 から都道府県 計画の改善指 導の必要の有 無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
平成28年度	7	6	1	40%	1	1	牛舎整備が遅れ計画どおりの規模拡大が図れていないためであるが、現在は順調に増頭されている。	未達成であるため県に対し継続的な指導を依頼。